



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

# 砂川ロータリークラブ会報

## ■ 本日は11月17日(水) 第2467回例会 ■

ゲスト卓話 SAA石家委員長担当  
「コロナ禍における企業再生」  
北門信用金庫室長 伊藤 貢作様

※RCレート 11月1日より 1\$ 114円

## ■ 次週の予定 ■

11月24日(水) 会員卓話 国際奉仕藤田秀邦委員長担当  
第2468回 「高校1年時の先入観をコロナ禍に巨人の星を通して検証する」  
12月1日(水) 四大祝福 会長担当  
第2469回 定時総会  
クラブフォーラム

第2466回例会記録 2021年(令和3年)11月10日(水) 晴れ 「君が代」「四つのテスト」唱和 「それでこそロータリー」音楽のみ

- ・ゲスト紹介 本日はいらっしゃいません。
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

## 会長報告

会長 永森 直弘

- ①第2510地区ガバナー事務所より、第50回ロータリー研究会記念講演「ポストコロナの生命哲学」のオンライン視聴のご案内が届いております。YouTubeにて視聴可能です。  
日時 12月8日(水) 15:00~16:45  
視聴を希望される会員は幹事(山田)まで連絡願います。
- ②砂川高校より職業講話講演のお礼と学生の講話についての感想が届いております。

## 幹事報告

幹事 山田 大

- ①留萌RC、深川RC、羽幌RCより、それぞれ11月分の例会のお知らせと10月分の会報が惠送されております。
- ②赤平RCより10月分の会報がクラブ宛てと堀江ガバナー補佐宛てに惠送されております。

## 委員会報告

**職業奉仕委員会** 委員長 湯浅 克己  
職業奉仕委員会から報告致します。

ロータリークラブの出前講座として実施しております、砂川高校の職業講話を11月5日(金)に行いました。

永森会長より、「人との出会いを大切に」、沢田副会長より、「100キロメートルを歩いて」、山内会員より、「コミュニケーションについて~私の体験談」と題しまして、社会に出て行く68名の3年生に、これまでの体験から得た、これからの人生において大事にすべきことなど、貴重な講話を行っていただきました。大変ありがとうございました。

## ロータリー財団・米山記念奨学会

委員長 松原 重俊

本日、ロータリー財団へ 飯澤明彦会員、大橋俊彦会員、信太英樹会員、石家裕二会員、松原重俊会員、高橋俊美会員、湯浅克己会員より 17,100円(150\$)、水島孝嗣会員より 11,400円(100\$)のご寄付をいただきました。有難うございました。

## 四大祝福

**会員誕生記念** 伊藤徳博会員、水島孝嗣会員、山田 大会員  
**夫人誕生記念** 湯浅克己会員、水島孝嗣会員、武田昭二会員、堀江和美会員、大橋俊彦会員  
**創業記念** 藤田秀邦会員、西川公平会員、小野志伸会員  
**結婚記念** 山崎義彦会員

## 例会

### 会員卓話

ロータリー財団・米山委員会担当

### ロータリー財団について

—世界でよいことをするための基金—

ロータリー財団・米山委員会

委員長 松原 重俊

いつもロータリー財団、米山記念奨学事業にご理解とご協力を頂いておりますことに感謝を申し上げます。



ロータリー財団は、1917年に当時の国際ロータリー会長のアーチ・クランフ氏の提案により設置され、最初の寄付額は26ドル50セントだったそうです。そこからクランフ氏の「私たちは自分のためだけに生きるべきではありません。誰かに“よいこと”をする喜びのために生きるべきです」というビジョンのもと、世界中のロータリアンによる奉仕活動を支え、若者を支援し、ポリオ(小児まひ)撲滅を現実にならせた。

2016-2017年度に創立100周年を迎えた現在、財団は「平和の推進」「疾病との戦い」「きれいな水の提供」「母子の健康」「教育の推進」「地元経済の成長」とともに「環境」を含めた7つの分野に重点を絞って活動しています。また、これらの重点分野の活動に力を貸してくれる若者の育成も推進しています。

ロータリー財団への寄付にいくつかの種類があります。

①年次寄付：皆様に毎年お願いをしている一人15

0ドルの寄付です。個人で1,000ドル以上の寄付者をポール・ハリス・フェローと言います。累計で2,000ドルを超えるとマルチプル・ポール・ハリス・フェローとなり、1,000ドル寄付額が増えるごとに表彰が行われます。この年次寄付は、3年間利殖に回され、3年後にWF（国際活動資金＝World Fund）とDDF（地区財団活動資金＝District Designated Fund）に47.5：47.5の割合でシェアされ、全額プロジェクトに使われます。（5％は運用費）

②恒久基金：1,000ドル以上の寄付者をベネフェクターと言います。この恒久基金への寄付をした場合、いただいた寄付は基金として積み上げ、その元金には手をつけずにその運用益のみを使用していきます。運用益は一般管理費等に使われるほか、一部はWFやDDF地区で行うプロジェクトにも使用されます。年次寄付が今日の財団プログラムを支える一方、恒久基金は明日の財団プログラムを確かなものとするために、元金には手をつけず投資収益のみを使います。これにより世代を超えて大勢の人々を支援し、希望を分かち合うことができるのです。

③ポリオプラス基金：ポリオ（脊髄性小児麻痺）は、身体麻痺の後遺症をもたらし、時として命さえも奪う伝染病です。この募金は、ポリオを世界から撲滅するという目標を達成するために利用されます。治療法のないポリオに対する最善の対策は予防です。

④用途指定寄付：平和の推進、疾病との戦い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済と社会の発展、環境、これらロータリーの7つの重点分野の優先活動の中から寄付先を指定して寄付することができます。

⑤その他：承認済みグローバル補助金などへの用途を指定しご寄付を頂く方法もあります。

ロータリー財団からの補助金は、

①地区補助金 (District Grant)：資金が一括して支払われ、クラブや地区が地元や海外の差し迫ったニーズに取り組むために利用できます。

②グローバル補助金 (Global Grant)：プロジェクト総額30,000～40,000ドルの範囲で7つの重点分野に直結し、長期的に大きな成果をもたらす持続可能な活動を支援します。

③ロータリー災害救援補助金 (Rotary Disaster Response Grants)：2019年4月開始、ロータリー補助金の参加資格認定を得ている被災地区は、最高25,000ドルまで申請可能（十分な蓄えがある場合）

④大規模プログラム補助金：毎年1口の補助金が競争制で授与され、クラブまたは地区が提唱する3～5年のプログラムを支援するために財団から200万米ドルが授与されます。すでに成果が実証されており、より多くの場所のより多くの人々を支援するために拡大可能なものである必要があります。

皆様からの温かいご寄付は、このように有効に使われております。どうぞ今後とも皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 出席報告

委員長 瓜 俊雄

第2466回例会

※在籍数 39名 ※出席規定免除 3名

※本日出席基数 38名 ※本日欠席者数 9名

※本日出席率 76.31%

※本日欠席者 近藤俊継会員、阿部憲道会員  
佐藤文優会員、岩渕健悦会員  
高坂 誠会員、藤田秀邦会員  
西川公平会員、香山素子会員  
田中敏文会員

※メークアップ 高坂 誠会員  
瓜 俊雄会員、阿部憲道会員

前々回の欠席者7名の内3名の方がメークアップされましたので、前々回の出席率81.57%を89.47%に修正致します。

## ニコニコボックス

※出前講座を無事に終えて。松原委員長、卓話ありがとうございました。 ○永森直弘会長

※永森会長、例会欠席が続いていますすみません。

◎近藤俊継会員

※会員誕生、夫人誕生を頂いて。 ○水島孝嗣会員

※会員誕生を頂いて。 山田 大会員

※夫人誕生を頂いて。 大橋俊彦会員

※地区より100%皆出席20年を頂いて。

沢田広志会員

※卓話させて頂き。これからもロータリー財団よろしくお願ひします。 松原重俊会員

※砂川高校の出前講座が無事終了いたしました。永森会長、沢田副会長、山内会員、誠にありがとうございました。また、夫人誕生をいただいて。

○湯浅克己会員

※30年100%皆出席賞をいただいて。竹田俊一会員に2週出欠報告をしていただいて。

○瓜 俊雄会員

※夫人誕生をいただいて。ありがとうございました。 武田昭二会員

※結婚記念をいただいて。 山崎義彦会員

※創業記念をいただいて。 小野志伸会員

本日のニコニコBOX 44,000円 累計額 481,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 480,000円

本日 0円 累計 393,000円

※ロータリー財団：目標 6,000\$

本日 1,150\$ 累計 4,450\$

本号担当：染谷 昇 次号担当：染谷 昇

事務局：砂川パークホテル内 (TEL0125-52-3989)

会長 永森直弘 幹事 山田 大

欠席届は前日昼迄に石家裕二SAAまで (TEL52-3191・FAX54-0191)